

2017年10月号の月刊美術に『銀座かわうそ画廊』を掲載いただきました

ポートサイドのアートフェア 神戸アートマルシェ2017

アートシーンの活性化とアートマーケットの拡大を目的として2009年に始まったホテル型アートフェア「神戸アートマルシェ」。作家も来場者も比較的若く、フレッシュな作家がラインナップされるのが特徴。また近年は気鋭作家の展示だけでなく、地元企業の協力のもと、日本酒や紅茶とコラボした企画も開催してイベント性を高めている。

9回目となる今年もデイトスポットとして知られる海岸沿いの海を臨む神戸メリケンパークオリエンタルホテルのワシフロアを会場に開催。三方を海に囲まれたリゾート感あふれるホテルのなかで、各ブースが非日常を演出した展示を繰り広げる。定番のデイトスポットから一歩踏み出して、アートを楽しんでみよう！



加藤千佳 《thawing》 ガラス(room1351 川田画廊)



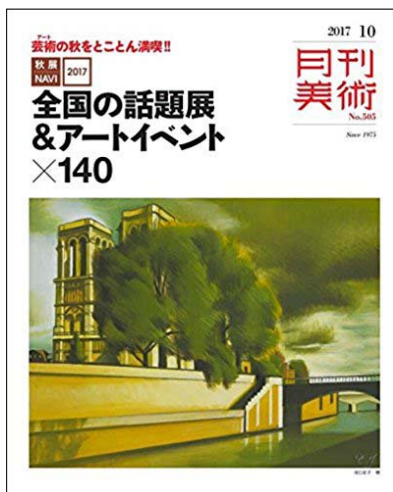
room1327 柳月沙樹 Untitled
17x17cm 木板、紙



久下じゅんこ 《涼風》
6F アクリルガッシュ
(room1332 銀座かわうそ画廊)

会期 9月29日(金)～10月1日(日)
時間 11:00～19:00
会場 神戸メリケンパークオリエンタルホテル13階
入場料 1000円
(3日間通し券、作品5000円以上購入の際のデポジットとして利用可)
<http://www.art-marche.jp/>

出展ギャラリー
ギャラリーメゾンダール / Linlow / アートデアート・ビュー / GALLERY CLASS / みぞえ画廊 / レントゲンヴェルケ / 芦屋画廊kyoto / 同時代ギャラリー / GALLERY龍屋 / 白白庵 / 激陶者集団 へうげ十作 / Artist meets Gallery / 神戸北野美術館 / ギャラリー恵風 / THE GALLERY / 田中美術 / 芝田町画廊 / SYSTEMA GALLERY / ふくだ画廊 / 銀座かわうそ画廊 / 株式会社 石川画廊 / gallery UG / 3ta2 gallery / サコダアートギャラリー / 創治閣 / GALLERY CLEF / 川田画廊 / Infinity Japan Contemporary Art Show (U space Gallery) / Gallery Seek



2017年10月号の月刊美術に
『銀座かわうそ画廊』を掲載いただきました

—太陽のきららこ— 山本真澄 日本画展

10月7日(土)～13日(金) 休水

銀座かわうそ画廊
東京都中央区京橋3-6-21 十合ビル3F
☎03(3535)3931
12:30～19:00 / 最終日～16:00
<http://kawausogarou.com>

耽美かつ爽快な作品世界

2015年準グランプリ。10年京都造形芸術大学美術工芸学科日本画コース卒業。独特の空気感をまとった少女と、鳥などの動物を組み合わせた人物作品などで幅広く活躍。発表の度に洗練の度合いを増す緻密な作品世界に注目。

《ツバメ》 6F 日本画

京橋

期待の新展



2017年10月号の月刊美術に『銀座かわうそ画廊』を掲載いただきました

だっさい 秋の瀬祭 洋画部

10月21日(土)～27日(金) 休水

京橋

銀座かわうそ画廊

東京都中央区京橋3-6-21 十合ビル3F
☎03(3535)3931
12:30～19:00 / 最終日～16:00
<http://kawasogarou.com>

洋画・版画



柳田補 《ゆらめき》 3F 油彩



田所雅子 《朝の月》 W6F 油彩



長谷治郎 《Memory》 M10 アクリル、木炭、墨

【出品作家】

柳田補(無所属)、倉岡雅(独立会員)、村田英子(独立会員)、日下部直起(二紀会会員)、半山修平(二紀準会員)、末次広幸(二紀準会員)、堀一浩(独立準会員)、長谷治郎(独立準会員)、宮地明人(独立準会員)、真弓俊郎(一水会)、近藤孝子(一水会)、田所雅子(光風会会員)、結城唯善(光風会)、川端健太(かわうそ新人賞グランプリ)

「祭」の名にふさわしい盛り上がりをもせる。
全国各地それぞれを基盤に制作を続ける画家たちの新作を東京に集めて、全力で紹介するグループ展は

視点の柔らかい世界が特徴。
なかでも柳田補は単身渡仏して独学で写実絵画を学び、人物画・静物画・風景画を卓越した技術でみずみずしい輝きを描き出す。初紹介の田所雅子は千葉大学卒業し現在は光風会会員、日展会友。女性ならではの

なかも柳田補は単身渡仏して独学で写実絵画を学び、人物画・静物画・風景画を卓越した技術でみずみずしい輝きを描き出す。初紹介の田所雅子は千葉大学卒業し現在は光風会会員、日展会友。女性ならではの視点の柔らかい世界が特徴。
全国各地それぞれを基盤に制作を続ける画家たちの新作を東京に集めて、全力で紹介するグループ展は

全国の実力派を集めて
東京で盛り上がる！



2017年10月号の月刊美術に
『銀座かわうそ画廊』を掲載いただきました

えぞえ・たくろう

1983年京都生まれ。大阪在住。2004年専門学校卒業後カラーとモノクロの作品制作を続ける。06年鉛筆画作品制作に専念し始める。12年より東京・大阪・京都で活動中。17年第35回上野の森美術館大賞展入選、江副拓郎個展（銀座かわうそ画廊）



《オンディーナ IV》 10F 鉛筆 イラストボード(パネル貼)
108,000円(税込)

ヒトコト：『宇宙戦艦ヤマト』や『銀河鉄道999』をリアルタイムで観た世代にもおすすめです。(W)

リアリズムにも色々あるが、ほとんどの作家は芸大美大卒でお行儀が良いので、たまには美大出身でない「変わり種」を思っていたところに偶然出会った作家。とにかく巧い。鉛筆で描いているとは到底思えない。さらに言えば、SFとかファンタジー映画を思い起こさせるような近未来的な獨創性がある。ロードショーのポスターとか、ハヤカワ文庫の装丁なんかに使ったらパッチリはまるんじゃないかと思わせる魅力が。幻想絵画ファンにも、ぜひ知ってほしい作家。(W)

ARTIST FILE 053
江副拓郎

私を「近未来」に連れてって

誌上キャラクター

めだま堂

編集部が見つけた旬な作家をブレイバック。とっておきの作品を誌上販売いたします。ふるって応募を！

【掲載作品のご購入方法】

- 価格は消費税込となります。
 - 169ページの応募要項をご参照の上、巻末のはがきにてお申し込みください。
 - 応募多数の場合は抽選となります。
 - インターネットサイト「月刊美術アートショップ」からもお申し込み可能です。
<http://www.gekkanbijutsu.co.jp/shop/>
- お申し込み締め切りは、10月10日(火)となります。